

人々の安全を科学する

参加費無料

定員
60名
※定員を超えた場合は抽選

対象
高校在学学生
※既に卒業され、
大学進学希望の方も可

触れ、試し、学際的に学ぶ

セミナー内容

「関西大学社会安全学部」は、安全・安心というレンズを通して、私たちが生きる社会や人間、自然を洞察し、そこにある問題を解決することで、自然災害・社会災害の最小化をめざしています。

本セミナーでは、私たちの生活の安全を守ってくれている身近な仕組みを、講義・実験・演習という異なるスタイルで学んでいきます。

演習

見て、話す

【災害情報】

社会安全学部 准教授 近藤 誠司

多発する災害や事故から大切な人のいのちを守るために、現代社会ではさまざまな「リスク情報」を活用することが求められています。でもどうやって？演習をとおして、どのような伝え方をすれば情報がより伝わりやすくなるのか、みんなで実際に“体感”してみましょう。

講義

聴く、考える

【耐震工学】

社会安全学部 教授 一井 康二

災害での犠牲者を減らすためには、いろいろなことが必要です。例えば、私たちが普段の生活で使っている建物が地震の時に簡単に壊れないこと。このために、新しい建物では耐震設計をきちんと行うことが必要ですし、古い建物では耐震診断により危ないところの有無を確認しなければなりません。どうすれば、きちんとした耐震設計・耐震診断ができるか考えてみましょう。

実験

触れ、試す

【安全工学】

社会安全学部 教授 小澤 守

薄肉の材料で作られた容器内を減圧すると、大気圧との差で大きな力がかかり、容易に圧壊します。初期の蒸気機関はこの力を用いていました。もし逆に容器内が許容値範囲を超えて高圧になれば、破裂して大きな災害を引き起こすことになります。本実験では実際にアルミ缶の圧壊を体験し、材料や構造物の強さについて、一緒に考えてみたいと思います。

申込方法・当日スケジュールについては、裏面をご確認ください。▶

8/9 金
10:00 ~ 15:00

開催場所 **高槻ミュージックキャンパス**
〒569-1098 高槻市白梅町7番1号

申込締切 **7月22日(月)**



高槻ミュージックキャンパスへのアクセス

JR京都線「高槻」駅
(「大阪」・「京都」駅から共に約15分)
下車、徒歩約7分

阪急京都線「高槻市」駅
(「梅田」・「河原町」駅から共に約20分)
下車、徒歩約10分

関西大学

お問い合わせ先 **社会連携部 高大連携センター**

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号
TEL:06-6368-1184 FAX:06-6368-0858
HP: <http://www.kansai-u.ac.jp/koudai/>



人々の安全を 科学する

申込方法・
注意点

- ▶参加ご希望の方は、関西大学高大連携センターHP(<http://www.kansai-u.ac.jp/koudai/>)の「関大の研究を体験する」ページ内にある本講座の申込みフォームに必要事項を入力の上、送信してください。
- ▶お申込み人数が**定員(60名)を超えた場合は、抽選**とさせていただきます。あらかじめご了承ください。
- ▶**申込み締め切り後、申込者全員に受講可否の通知**を送付いたします。実施日の3日前までに通知が届かない場合は、高大連携センター **TEL(06-6368-1184)** までお問い合わせください。
- ▶本セミナーは **高槻ミューズキャンパス** で実施します。(千里山、高槻、堺キャンパスとは異なりますのでご注意ください。)

※お申込みの個人情報は、本セミナーに関することにものみ使用します。

当日の
スケジュール

- 10:00 ~ 10:20 学部紹介
- 10:30 ~ 11:30 ①演習『見て、話す(災害情報)』
- 11:40 ~ 12:00 高槻ミューズキャンパス見学ツアー
- 12:00 ~ 13:00 昼食
- 13:00 ~ 14:00 ②講義『聴く、考える(耐震工学)』
- 14:00 ~ 15:00 ③実験『触れ、試す(安全工学)』

※スケジュールおよびプログラムは変更する場合があります。



社会安全学部の
多様な学びを
体験しよう!!